

積雪時の生徒の事件、事故等の未然防止において  
(北海道教育庁からのお知らせ)

- 1 スリップや視界不良などによる冬型の交通事故が多く発生しています。道路を横断する際には十分に安全確認を行ってください。
- 2 道路脇に高く積もった雪山での雪遊びやそり遊びは絶対に行わないことや、屋根の下など危険が予測される場所には絶対に近寄らなでください。
- 3 道路脇に高く積もった雪山により、歩行者の状況が周囲から見渡せないことは、防犯上も課題があります。外出時に不審者を見かけたり、犯罪につながる事態が起こったりした場合は、大声を上げる、教職員や保護者に知らせる、交番や「子ども110番の家」に駆けこむなどして、安全を確保してください。
- 4 外出時には、事前に行き先や帰宅の予定日時、同行者等を保護者に知らせ、緊急の際には、速やかに連絡等ができるように備えてください。

※ 今年例年よりも積雪が多く、交差点等見とおしのよくない場所も目立ちます。地域の皆様も、冬型の交通事故には十分にご注意ください。

また、子どもたちの登下校時の安全指導や安全確保にむけて、今後ともご支援とご協力をくださるよう、お願いいたします。



2月の行事予定

1日(木)	校内研修	12日(月)	振替休日
2日(金)	学力テスト(全)	16日(金)	学年末テスト(1・2年)巡回文庫
3日(土)	冬季バドミントン大会	17日(土)	たよる雪まつり
4日(日)	町民スキー大会	18日(日)	子ども会料理教室 英検2次
5日(月)	朝会 学校評議員会16:00~	19日(月)	朝会
6日(火)	設置連合同雪中学習	20日(火)	スキー授業(1・2年)
7日(水)	参観日	22日(木)	校内研修
9日(金)	職員会議	27日(火)	職員会議
11日(日)	建国記念日		

現状を見つめ、次につなげる

校長 工藤朝博

今年の干支は、戌戌(つちのえいぬ)です。干支はご存知のように十干(じっかん)と十二支(じゅうにし)を組み合わせた60を周期とする数詞のことです。私は8月の誕生日が来ると60の周期が1周することになります。60歳は還暦と呼ばれ、昔は隠居の年齢で社会からの隠退を意味したようですが、2016年の日本人の平均寿命は男性が80.98歳で、女性が87.14歳です。私の寿命は平均でも20年はあります。最後まで健康寿命を維持し、日々の生活を楽しみながら、夢の実現に向かって残りの人生を送りたいと思います。

さて、多寄支区PTAとして多くの保護者の皆さんが取り組んできた「多寄中学校の今後について」は、昨年6月に「士別中学校への統合」という結論を出してから、役員皆さんの中心となり、様々な地域の行事や集会等を利用して、地域の皆さんに自分たちの考えを伝え、根気強くお願いをしてきました。そして、最後には、地域全体の願いとして、士別市教育委員会に要望書を提出したいと考えておりました。年末年始に行われた各地区の自治会総会では、要望書に全ての自治会長が住民を代表して署名捺印をしてくださいました。役員皆さんの熱意が住民の皆さんに伝わったのだと思います。住民の皆さんにとっては、つらい決断だったと思いますが、ご理解とご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

2月8日に佐々木博多寄中学校同窓会長はじめ、山形前多寄地区自治連会長、福山多寄支区PTA会長、北村多寄中学校PTA会長など、多寄支区PTA役員とともに士別市教育委員会に出向き、中峰教育長に要望書を提出してまいります。これでようやく、士別市教育委員会との本格的な話し合いを始めることができるようになると思います。

また、体育館のつり天井工事では、多寄スポーツクラブや多寄町体育協会をはじめ、多くの多寄町民の皆さんにご迷惑をおかけしております。工事は順調に進んでおり、計画通り2月中旬には完了する予定です。新年度からは、雨漏りのしない教室と更に安全性が増した体育館で、小学生も中学生も思いっきり学習することができます。

一方、先生方は冬休み中に生徒をさらに伸ばすための方策を考えました。まず、生徒の実態を正確に把握することから始めました。4月から12月までの9か月間で、17名の全校生徒は、何が伸びて何が伸びきれなかったのか。伸びきれなかった理由は何なのか。1月17日には、朝から冬休み中に考えた生徒の現状や部会の反省で話し合ったことなどをもとに意見交流を行いました。7月と12月に実施した生徒・保護者・教職員によるアンケートの数値結果と自分たちが直接生徒と触れる中で感じていることを比較しながら、確かな根拠をもって生徒の現状と課題を明らかにしようとしています。3月まで継続的に生徒観察を続けていきます。中学生は、中学校時代の3年間だけで育つわけではありません。小学校の6年間、更には保育園での生活、各家庭での生活の積み重ねをベースにして中学生になります。中学校で生徒の能力を伸ばすためには、小学校の教育を理解し、お互い協力して教育活動に取り組む必要があるし、小学校で児童の能力を伸ばすためには、保育園の様子を理解し、協力し合う必要があります。

中学校は今後生徒数が減少し、十分な教育条件が整わなくなる可能性があります。一方、小学校では次年度から放課後子どもクラブを実施し、小学生の放課後の活動を充実させようとしています。それぞれの現状を見つめて、次につなげる方策を考えたいと思います。引き続き、子どもたちの成長のためにお力添えをくださるようお願い申し上げます。





# 学校教育目標「豊かな心情をもち、根気強く、実行力に富む生徒の育成」

○思いやる心・徳育の気(徳育) ○たくましい身体・強靱の気(体育) ○確かな思考力・表現力・判断力・向上の気(知育) ○働くことをいとわぬ精神・忍耐の気(労育)

## <めざす生徒像>

真心をもってやりぬく  
た たくましい人(体育)  
よ よく考える人(知育)  
ろ ロマン豊かな人(徳育)(労育)

## 重点目標「規則正しい生活をし、先々を見とおしながら、よく考えて行動できる生徒の育成」

今年度の重点目標を具体的な教育活動に！！



### ～生徒会・常任委員会の活動紹介～

#### 生徒会企画「爆弾ゲーム」(12月19日)

全校生徒が親睦を深め、楽しい学校生活を過ごせるよう、昼休みの時間にゲームを企画しました。かつらやマスクを被りながら楽しい時間を過ごせました。



#### 生活常任委員会「全校スポーツ交流(氷鬼)」(1月25日)

体力の向上と全校の仲を深めることを目的にスポーツ交流を行っています。今回は「氷鬼」を行いました。降雪のなか、スポーツをとおして全校生徒と先生が楽しく交流できました。



#### 文化常任委員会「ビブリオバトル」(1月25日)

学校図書館の利用が増えるように、全校で「ビブリオバトル\*」をおこないました。生徒は、短い時間のなかで自分の選んだ本の魅力について、スピーチをおこないました。生徒からは「普段自分では選ばない本と出会えてよかった。」「本を少しずつ読むようになった。これから図書室をもっと活用したい。」と感想がありました。この活動をとおして、図書館の利用だけではなく、自分の考えを分かりやすく伝える力や、自分とは異なる個性や価値観を大切にできる心も育ててほしいと思います。

\*「ビブリオバトル」とは「ビブリオバトル」と呼ぶ発表者たちが、おもしろいと思う本の魅力を5分間で紹介しあう。「読みたくなった」と思った聴衆の投票数で勝敗が決まる。「ビブリオ」は「本」の意味で、「戦い」の「バトル」と合成した言葉で、知的書評合戦と呼ばれることもある。(出典 朝日新聞掲載「キーワード」について)



### スキー授業(12月21日・1月23日)

今年度は体育館つり天井工事に関わり、シーズンに3回のスキー授業(3年生のみ2回です)を行います。多寄町スキー協会から伊藤博己さん、高島秀輝さん、小野 勝さんの3名の方が講師として指導してくださいました。降雪や気温がとても低い状況でしたが、けがもなく、楽しいスキー授業が行えました。



### 「一日警察署長」(1月10日)

1月10日は「110番の日」です。3年生の さんが士別警察署から「一日警察署長」に委嘱され、市民の交通安全意識の醸成と さんがデザインしたサクラリフレクターの普及を目的に、110番の日のチラシとサクラリフレクターを配布し、啓発活動をおこないました。



### 3学期始業式(1月18日)

1月18日から3学期が始まりました。始業式では、3名の代表生徒から「委員長としてクラスをまとめていき、部活動も優勝目指して日々努力していきたい。(1年 さん)」、「3学期も集中して授業に取り組むことと、スキーも積極的にいき体力向上に努めていきたい。(2年 さん)」、「受験生として規則正しい生活を心がけ、冬休み中の理科の講習会にも積極的に参加できていた。残り少ない3学期は、今まで支えてくれた方々に感謝の気持ちをもって生活していきたい。(3年 さん)」と3学期の抱負の発表がありました。

